

共同研究プロジェクト

「AIを利用した新聞記事分析による 価値観推移数量化システムの開発」

〈中間報告〉

道用 大介・山崎 友彰

1 研究概要

経済環境の変化や情報伝達の加速化によって、世の中の価値観の変化速度も加速していると考えられる。本研究では、新聞記事の分析から価値観推移を数量化する技法を開発するとともに、AIを利用して継続的かつ即時的に価値観推移を観測できるシステムを構築するものである。

2 現在の状況

朝日新聞デジタルのホームページから毎日同時刻に記事を収集し、それらをAIによってマズローの欲求5段階説の各レベルに分類し、表示するシステムの開発はほぼ完了した。AIの学習に関しては随時、追加学習を行う予定である。

図1は開発したシステムによって算出された価値観の推移を表した図である。2020年初頭から新型コロナウイルスの感染拡大により、安全欲求の割合が高くなり、2021年の東京オリンピックの時期には一時的に安全欲求の割合が低下していることから、世の中の欲求レベルを表現できていると考えられる。

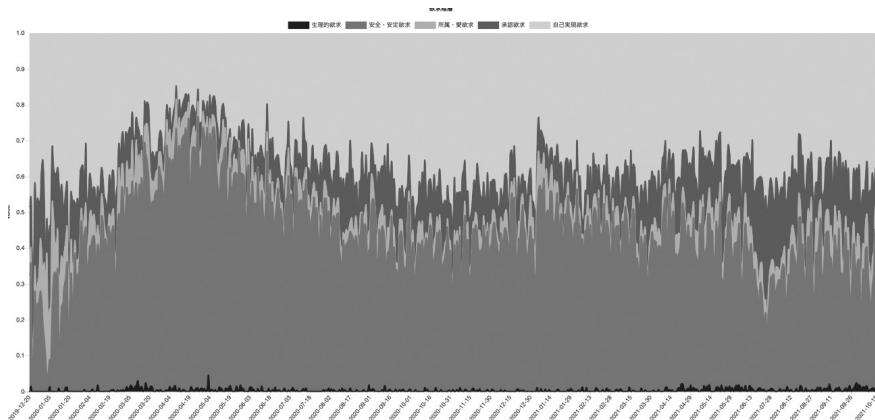


図1 2019年末から現在までの価値観推移

3 今後の予定

今後はシステム構築前の朝日新聞のデータを分析し、データベースに取り込んでいくことによって長期的な価値観の推移の数量化を目指す。